

絵手紙のすすめ

絵手紙を知っていますか？

絵手紙は主にハガキに絵と短い言葉を入れた手紙です。

「絵なんて小学校以来描いたことがないので描けるかな？」なんて思っていないですか。大丈夫、描けます。絵手紙はうまく描こうとか人に見せるものだからきれいに描こう、と考える必要はありません。「下手でいい、下手のほうがいい」のです。うまく描くことはありません。描いているうちにいやでもうまくなります。

- 最初は構図に凝ったり、色をきれいに塗ろうなどと考える必要はありません。
- 果物 1 個、野菜 1 個、花一輪などごく簡単な絵でもいいのです。
- リラックスして、歌でも唄いながら楽しく描いてください。

絵手紙は絵の上手下手を競うものではありません。形にはまらず、目の前にあるものを自分なりの表現で感じたまま描いてください。

文字も習字のような上手な字でなく、大きくあるいは小さく、リズムを感じるような面白い字を書いてみてください。手紙を貰った人がニッコリして喜んでくれたら大成功です。

毎日いろいろな出来事があると思います。例えば、釣りに行って大きな魚を釣った、美味しいものを食べた、動物園に行った などなど・・・嬉しかったこと、感動したこ

と、人に伝えたいことが沢山あるはず。絵手紙はそうしたことを自分らしく描いて贈る、一種の遊び、いわば「絵手紙ごっこ」という知的な遊びです。

絵を描いていると日常生活がさらに豊かなものになるはず。さあ、まずは肩の力を抜いて筆を執りましょう！！



絵手紙の基本的な描き方

1 絵手紙は筆のほか、鉛筆、ボールペン、クレヨン、竹ペン、割り箸、爪楊枝などどんなもので描いてもいいのです。初めて描くときは2Bか3Bの鉛筆や割り箸または油性ボールペンがいいと思います。筆で描くのはコツを知ってからで十分です。

そのコツは「ハガキからはみ出してもいいから、なるべく大きく描くこと、文章のスペースをあらかじめ考える必要はありません。絵が優先です。」

2 絵が描けたら彩色（色塗り）をします。色鉛筆、水彩絵の具、顔彩（岩絵の具など手元にあるもので結構です。

薄い色から塗り、次に濃い色を塗りますが、全部を塗りつぶさないよう白い部分を少し残すようにすると味のある、立体感のある絵になります。

3 彩色が終わったら文章を書きます。簡単でいいので「お元気ですか」とか「また一緒に飲みたいね」とか「いよいよ夏本番ですね」というように短く、できればサビきた文章がいいと思います。余白があまりないので、ごく簡単でいいわけです。原則として縦書きです。行書や草書は使わず、つまり文字はつなげず一文字ずつ、大小を変えて、太く細く変化をつけましょう。

4 絵手紙の締めくくりは雅印（落款）を押すことです。

雅印を押すと絵手紙は一層引き立ちます。押す場所は原則として左下または右下です。絵を邪魔しない場所に押します。雅印はハンコ屋さんで作ってもいいのですが、自分で作ったほうが味のあるものができます。版画用消しゴム（文具店で売っています）が彫りやすいようです。形は丸でも角でも小判型でもいいですが角なら7ミリ角位がいいでしょう。その他、木の小枝に彫るのも面白いと思います。名前はフルネームでなくても例えば、「まさ子」なら「ま」だけでもいいです。